

東北地方 1 か月予報

(2月7日から3月6日までの天候見通し)

平成16年2月6日
仙台管区气象台発表

< 予想される向こう1か月の天候 >

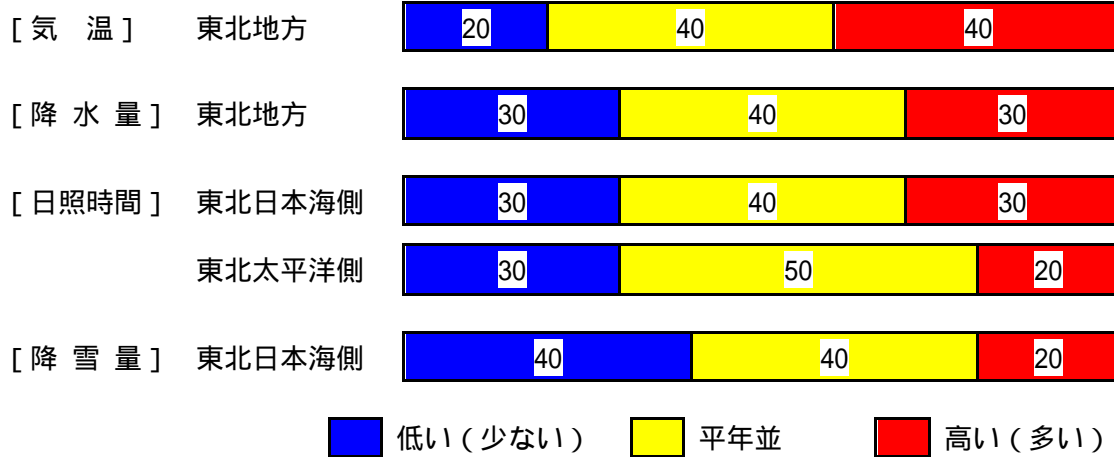
向こう1か月の実現の可能性が最も大きい天候は以下のとおりです。

冬型の気圧配置が続きますが、強い寒気の南下は一時的でしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪又は雨の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多いでしょう。

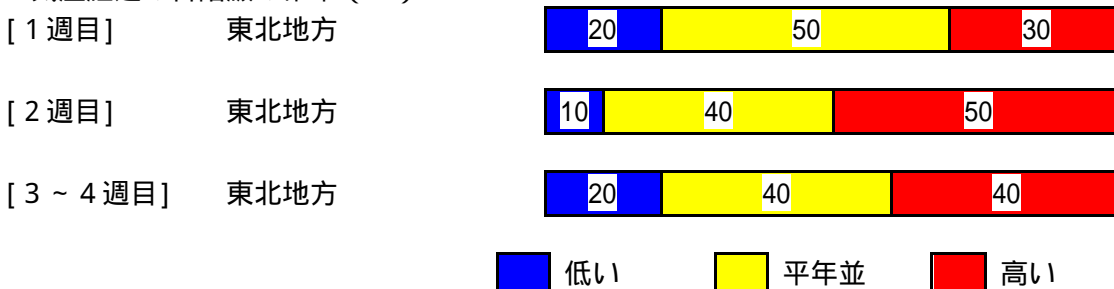
向こう1か月の平均気温は平年並か高い、降水量は平年並、日照時間は平年並、東北日本海側の降雪量は平年並か少ないでしょう。

週別の気温は、1週目は平年並、2週目は高い、3～4週目は平年並か高い見込みです。

< 向こう1か月の気温、降水量、日照時間、降雪量の各階級の確率(%) >



< 気温経過の各階級の確率(%) >



< 予報の対象期間 >

1 か月 : 2月 7日(土) ~ 3月 6日(土)
1 週目 : 2月 7日(土) ~ 2月13日(金)
2 週目 : 2月14日(土) ~ 2月20日(金)
3 ~ 4 週目 : 2月21日(土) ~ 3月 5日(金)

< 次回発表予定等 >

1 か月予報: 毎週金曜日 14時30分 次回は2月13日
3 か月予報: 2月25日(水) 14時00分
暖候期予報: 2月25日(水) 14時00分

< 参考資料（平年並の範囲等） >

（１）30 年平均値（向こう 1 か月の平均気温、降水量、日照時間、降雪量と 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の平均気温）

	気 温 ()	降 水 量 (mm)	日照時間 (時間)	降 雪 量 (cm)	気 温()		
					1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
大船渡	1.3	58.8	147.5	21	0.6	1.0	1.7
新庄	-0.5	134.7	67.9		-1.2	-0.9	0.0
若松	0.1	66.1	106.6	99	-0.7	-0.2	0.6
深浦	0.2	77.1	59.9	57	-0.6	-0.2	0.7
青森	-0.6	104.8	85.9	181	-1.5	-1.1	-0.1
むつ	-1.1	84.4	104.6		-2.0	-1.5	-0.5
八戸	-0.4	50.9	140.9	54	-1.3	-0.8	0.2
秋田	0.6	93.5	77.6	72	-0.1	0.2	1.2
盛岡	-1.0	58.3	137.9	55	-2.0	-1.4	-0.4
宮古	0.7	78.3	158.2	40	-0.1	0.4	1.1
酒田	1.9	109.4	72.6	50	1.2	1.5	2.3
山形	0.3	67.0	110.8	81	-0.5	-0.1	0.8
仙台	2.2	50.2	158.4	25	1.5	1.9	2.6
石巻	1.4	45.2	169.3		0.6	1.1	1.8
福島	2.3	52.3	153.4	30	1.5	2.0	2.8
白河	1.0	44.9	161.0		0.2	0.7	1.4
小名浜	4.1	64.1	178.0	0	3.4	3.8	4.5

なお、気温、降水量、日照時間、降雪量の「平年並」の範囲は、地点ごとに幾分違いはありますが、下に示した地域平均の「平年並」の範囲を参考にして下さい。

（２）1971～2000 年のデータに基づいた向こう 1 か月地域平均の気温、降水量、日照時間、降雪量の平年差（比）の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	気温平年差()	降水量平年比(%)	日照時間平年比(%)	降雪量平年比(%)
東北地方	-0.5 ～ +0.6	79 ～ 112	97 ～ 104	70 ～ 122
東北日本海側	-0.5 ～ +0.5	93 ～ 108	92 ～ 106	78 ～ 126
東北太平洋側	-0.4 ～ +0.6	63 ～ 121	98 ～ 104	61 ～ 122

（３）この予報期間の 1 週目、2 週目、3 ～ 4 週目の地域平均の気温平年差の「平年並」の範囲は次のとおりです。

	1 週目	2 週目	3 ～ 4 週目
東北地方	-0.8 ～ +0.9	-0.9 ～ +1.0	-0.6 ～ +0.6
東北日本海側	-0.8 ～ +0.9	-0.9 ～ +0.9	-0.7 ～ +0.5
東北太平洋側	-0.7 ～ +0.9	-0.9 ～ +1.0	-0.6 ～ +0.6

< 参考資料（利用上の注意） >

（１）気温・降水量等は、「低い（少ない）」「平年並」「高い（多い）」の 3 つの階級で予報します。階級の幅は、1971～2000 年の 30 年間ににおける各階級の出現率が等分（それぞれ 33％）となるように決めてあります（気候的出現率と呼びます）。

（２）確率は、それぞれの階級が実際に起こると予想される割合を表しています。信頼性の大きい予測資料が得られた場合には気候的出現率（階級の定義から各階級とも同じで 33％）から大きく隔たった確率（10％や 60％、70％など）を付けられますが、信頼性が小さい場合には気候的出現率と同じかそれと同程度（30％、40％）の確率しか付けられません。

（３）晴れや雨などの天気日数は、平年の日数よりも多い（少ない）場合は「平年に比べて多い（少ない）」、また平年の日数と同程度に多い（少ない）場合には「平年と同様に多い（少ない）」と表現します。なお、単に多い（少ない）と表現した場合には対象期間の 2 分の 1 より多い（少ない）ことを意味します。

東北地方 1 か月予報解説資料

平成 16 年 2 月 6 日 仙台管区気象台

1. 実現の可能性が最も大きい天候

向こう 1 か月(2 月 7 日~3 月 6 日) :

冬型の気圧配置が続きますが、強い寒気の南下は一時的でしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪又は雨の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

1 週目(2 月 7 日~2 月 13 日) :

明後日(8 日)までは、冬型の気圧配置が続き、東北日本海側では雪の降る所が多いですが、中頃からは冬型が緩み晴れる日もあるでしょう。東北太平洋側では、概ね晴れる見込みです。

平均気温は平年並でしょう。

2 週目(2 月 14 日~2 月 20 日) :

冬型の気圧配置は長続きしないでしょう。平年に比べ、東北日本海側は曇りや雪又は雨の日が少なく、東北太平洋側は晴れの日が少ないでしょう。

平均気温は高いでしょう。

3~4 週目(2 月 21 日~3 月 5 日) :

冬型の気圧配置が続きますが、強い寒気の南下は一時的でしょう。平年と同様に、東北日本海側は曇りや雪又は雨の日が多く、東北太平洋側は晴れの日が多いでしょう。

平均気温は平年並か高いでしょう。

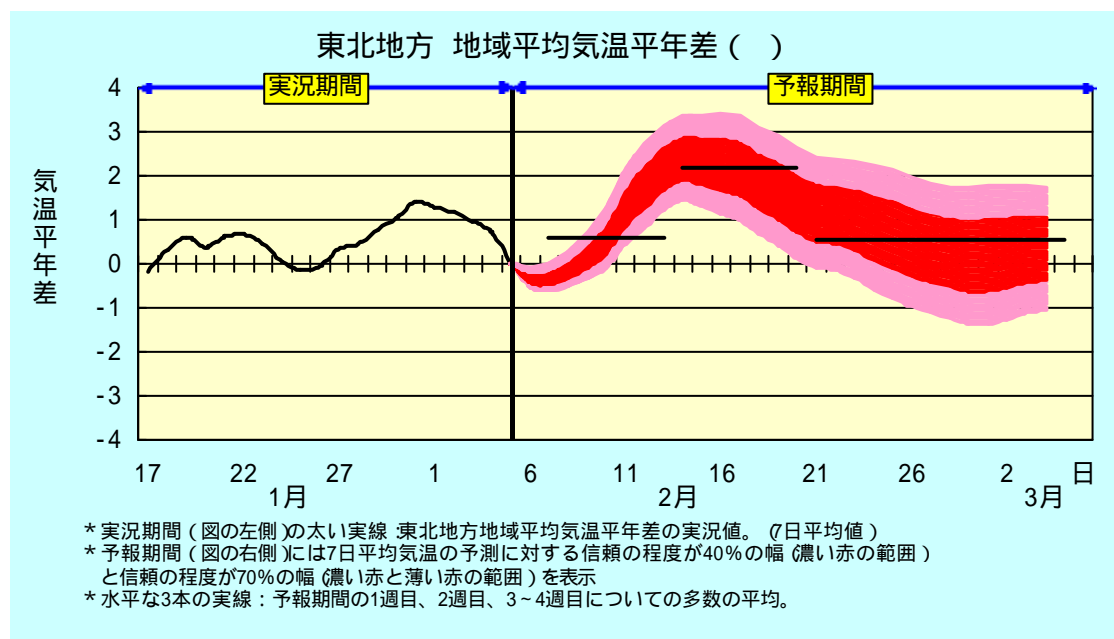
平年の晴れ日数

	向こう 28 日間	1 週目	2 週目	3~4 週目
東北日本海側	7.4 日	1.4 日	1.7 日	4.3 日
東北太平洋側	17.9 日	4.7 日	4.3 日	8.9 日

2. 東北地方の地域平均気温平年差の実況と数値予報による予測

数値予報による週別の気温は、2 週目は「高い」、1 週目と 3~4 週目は「平年並」と予測している。予報は、その他の資料から 3~4 週目を「平年並か高い」とする。

なお、数値予報の信頼度は大きい。

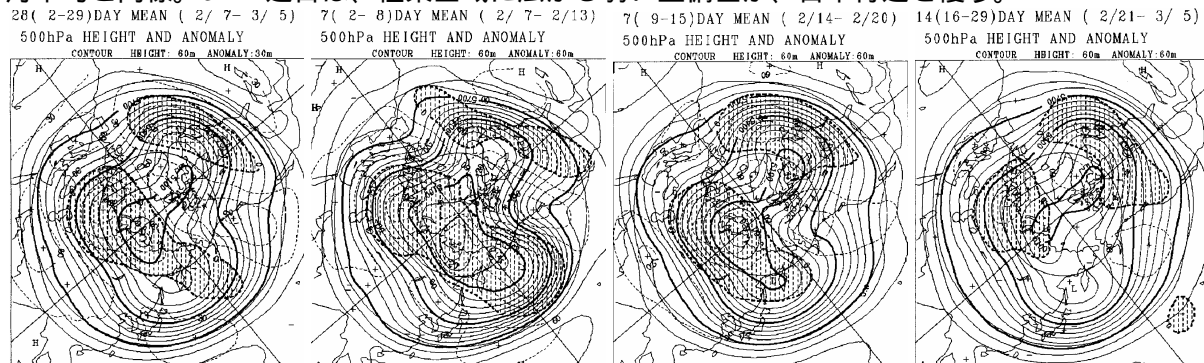


3. 数値予報（アンサンブル平均天気図）による大気の流れの予想

500hPa 高度と偏差：

月平均では、タイミル半島付近に極渦があって負偏差が広がり、寒気蓄積場となる予想で強い寒気の南下は一時的。極東域は全般に正偏差で、日本付近も正偏差に覆われる。

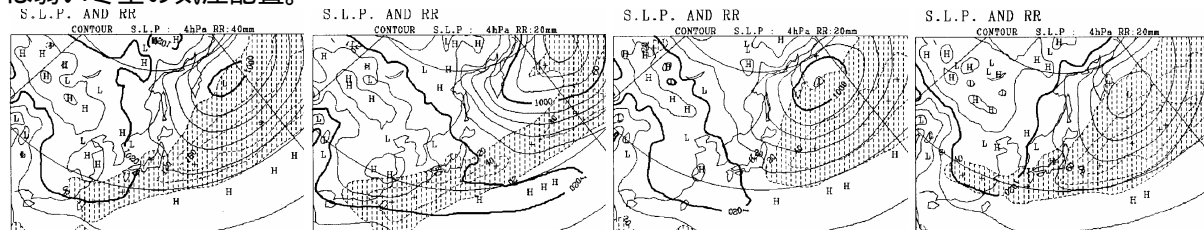
週別に見ると、1週目は大陸から日本の南東海上に広がる正偏差が日本付近を覆う。2週目は、月平均と同様。3～4週目は、極東全域に広がる弱い正偏差が、日本付近を覆う。



地上気圧と降水量：

月平均では、日本付近は平年よりやや弱い冬型の気圧配置。降水域は、日本の南海上と日本海側にかかる。

週別に見ると、1週目は、大陸の高気圧が日本付近まで張り出し、冬型の気圧配置は弱い。2週目は、北日本で等圧線の間隔がやや混んできると、寒気の影響は長続きしない見込み。3～4週目は弱い冬型の気圧配置。



4. 最近1週間（1月30日～2月5日）の天候の経過

この期間、初めは冬型の気圧配置が続き、東北日本海側は雪、東北太平洋側は概ね晴れた。2月1日は移動性高気圧に覆われて東北日本海側でも晴れた所があったが、2～3日に低気圧や前線が東北地方を通過したため、各地で雨や雪となった。低気圧や前線の通過後は、一時冬型の気圧配置が強まり、東北太平洋側でも雪となった所があった。

平均気温は高い。降水量は東北日本海側で平年並、東北太平洋側で多い。日照時間は東北北部で少なく、東北南部でかなり少ない。

